



東京女子医科大学学術リポジトリ  
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>

## 目次等

雑誌名	東京女子医科大学雑誌
巻	91
号	4
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00032938">http://hdl.handle.net/10470/00032938</a>

■報告

学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：

介護に関するアンケート調査結果から…………… 本多祥子・齋藤加代子・肥塚直美…205-218

■学会・研究会抄録

第 87 回東京女子医科大学学会総会（2021 年 9 月 25 日）…………… 219-220

■訂正

「特集 COVID-19 日本と世界の疫学的視点からの現状と課題」の訂正 …………… 221

# JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 91 Number 4 August 25, 2021

---

## Report

Questionnaire Survey on Balancing Work and Family (Elderly) Care of the Staffs of  
Tokyo Women's Medical University

Yoshiko Honda, Kayoko Saito, Naomi Hizuka. . . . . 205–218

## Proceeding

The 87th Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University  
(September 25, 2021) . . . . . 219–220

## Erratum

Erratum to “COVID-19 Pandemic:  
Epidemiology and Challenges in Japan and the World” . . . . . 221

## 第 87 回東京女子医科大学学会総会

日 時：2021 年 9 月 25 日（土曜日）13：10～15：30

会 場：オンライン会場〔Zoom ウェビナーと YouTube Live による同時配信〕

対 象：会員・本学教職員・一般

※総会は書面開催として行います。

挨 拶

（会長）丸 義朗

シンポジウム「私たちは COVID-19 パンデミックをどのように乗り越えてきたのか？」13：15～15：30

座長（東京女子医科大学 医学部国際環境・熱帯医学 教授）杉下智彦

### 1. 東京女子医科大学病院としての対応

（東京女子医科大学 総合内科学・総合診療科分野 特任教授）川名正敏

2. COVID-19 と学生教育 （東京女子医科大学 医学部部長、皮膚科学講座 教授・基幹分野長）石黒直子
3. 国立国際医療研究センターにおける経験（国立国際医療研究センター 国際感染症センター長）大曲貴夫
4. COVID-19 と心とジェンダーへの影響 （慶応義塾大学 医療政策・管理学教室 特任助教）坂元晴香
5. COVID-19 への日本と世界の対応 （東北大学 大学院医学系研究科 微生物学分野 教授）押谷 仁

### 1. 東京女子医科大学病院としての対応

（東京女子医科大学 総合内科学・総合診療科分野）川名正敏

東京女子医科大学病院では、2020 年 1 月末より総合外来センター入口でのトリアージに始まる様々な COVID-19 対策を実行してきた。2 月よりその後の患者数増加傾向を早期に察知して新型コロナウイルス感染症患者対応会議を定期開催して、病院全体としての取り組みが始まった。3 月には総合診療科、感染制御部を中心として、多くの診療科・部門から招集した多職種実働部隊としての“チーム・コロナ”を結成した。チーム・コロナのミッションは「患者視点に立って、安全・安心な医療の実践と高度・先進な医療の提供を続けられるように、徹底的な感染予防対策をとって院内感染を起こさないこと。」である。ここで COVID-19 に関する様々な課題を検討して実行に移してきた。

これとともに、3 月以降に患者数が急増してきたことから、COVID-19 診療を本格的にスタートした。救命 ICU の半分を陽性病棟として重症例の治療にあたりるとともに、糖尿病センター病棟を陽性病棟に改装して軽症・中等症の陽性病棟とし、陽性患者の治療にあたる COVID-19 Task Force が 4 月に結成された。これは内科を中心とした院内各科からの医師と各病棟から招集された看護師による混成チームである。感染状況をみながらチームを拡大・縮小するなどダイナミックに活動してきたが、

チーム・コロナとともに診療科・部門や職種を超えてのチームワークが発揮されたおかげで、多くの陽性患者を収容できただけでなく、これまで一度も院内クラスターを起こすことなく通常診療が継続できている。今回は、このような病院全体としての COVID-19 への取り組みを、2020 年 1 月末から 2021 年 9 月まで時系列にそって概説する。

### 2. COVID-19 と学生教育

（東京女子医科大学 医学部部長、皮膚科学講座）

石黒直子

2020 年 2 月以降、COVID-19 の拡大に伴い、試行錯誤の 2020 年度を経て、2021 年度は COVID-19 以前の体制を超越した教育体制の構築に向かって発進した。本講演では、本学の現在までの対応策を振り返るとともに、将来展望について触れる。

2020 年 3 月、感染の拡大に伴い、臨床実習を含めたすべてが中止となった。新年度開始にあたり、健康管理上安全かつ有効に学修が受けられる環境づくり、対面が必須の実習の実施、卒業要件をクリアするための学修期間の延長などについて検討を行った。臨床実習や基礎実習は人数を半分とし、夏休みの期間も利用して実施した。配信講義後復習テスト、メールによる質疑応答により、対面講義と同等の効果を保つことを実現した。Live によるテュートリアル学修も一部で構築した。2020 年度の成